

第 145 回日商簿記 3 級 第 1 問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	普	通	預	金	当	座	預	金	受	取	手	形
売	掛	金	立	替	金	前	払	金	仮	払	金		
他	店	商	品	券	土	地	支	払	手	形	前	受	金
未	払	金	仮	受	金	商	品	券	預	り	金		
引	出	金	売		上	仕		入	支	払	手	数	料
租	税	公	課	旅	費	交	通	費	支	払	利	息	手
											形	売	却
											損		

1. 店主の出張にあたり、旅費交通費 ¥ 150,000 を当座預金口座から旅行会社に支払った。なお、このうちの ¥ 50,000 は店主の個人的な旅行にかかる代金である。
2. 得意先に商品 ¥ 80,000 を売り渡し、代金のうち ¥ 60,000 は当店発行の商品券で受け取り、残額是他店発行の商品券で受け取った。
3. かねて得意先より受け取っていた約束手形 ¥ 500,000 を取引銀行で割り引き、利息相当額が差し引かれた残額を普通預金とした。なお、利息相当額の計算においては利率年 0.5%、割引日数は 146 日、1 年は 365 日で計算する。
4. 営業用の土地 100 坪を、1 坪あたり ¥ 100,000 で購入した。この土地を購入するさいに発生した手数料 ¥ 540,000 は普通預金口座から仲介業者に支払い、土地の購入代金は翌月末に支払うこととした。
5. 従業員の給料から源泉徴収していた所得税の合計額 ¥ 250,000 を、近くのコンビニにて納付書とともに現金で納付した。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	旅 費 交 通 費	100,000	当 座 預 金	150,000
	引 出 金	50,000		
2	商 品 券	60,000	売 上	80,000
	他 店 商 品 券	20,000		
3	普 通 預 金	499,000	受 取 手 形	500,000
	手 形 売 却 損	1,000		
4	土 地	10,540,000	普 通 預 金	540,000
			未 払 金	10,000,000
5	預 り 金	250,000	現 金	250,000

・解説

1. 資本の引き出しに関する問題です。

旅費交通費 150,000 円に関しては営業用（事業用）と店主用の 2 つに分けたうえで、前者を**旅費交通費**で費用処理し、後者を**資本の引き出し**として処理します。

なお、本問は問題で列挙されている勘定科目の中に引出金がある（資本金がない）ので、資本の引き出しに関する仕訳は**引出金**で処理します。

- ・ 100,000 円（＝150,000 円－50,000 円）は営業用 → **旅費交通費**で費用処理
- ・ 50,000 円は店主用 → **引出金**で処理

資本の引き出しに関する問題は、第 102 回の問 3や第 106 回の問 4、第 107 回の問 2、第 111 回の問 3、第 114 回の問 2、第 117 回の問 5、第 122 回の問 1、第 125 回の問 2、第 126 回の問 5、第 127 回の問 5、第 129 回の問 5、第 133 回の問 3、第 135 回の問 4、第 136 回の問 1、第 139 回の問 4、第 147 回の問 2でも出題されているので、あわせてご確認ください。

2. 売上取引・商品券に関する問題です。

まず、問題文の「代金のうち 円 60,000 は当店発行の商品券で受け取り」から、以前に発行した**商品券の額面金額を支払う義務が消滅**するので、商品券勘定を 60,000 円減額します。

★解答①・当店発行の商品券を受け取ったときの仕訳

(借) 商 品 券 60,000 / (貸) 売 上 60,000

また、問題文の「残額は他店発行の商品券で受け取った」から、新たに**商品券の額面金額を受け取る権利が発生**するので、他店商品券勘定を 20,000 円（＝80,000 円－60,000 円）増額します。

★解答②・他店発行の商品券を受け取ったときの仕訳

(借) 他店商品券 20,000 / (貸) 売 上 20,000

以上、①②をまとめると解答仕訳になります。

商品券に関する問題は、第 103 回の問 4や第 104 回の問 3、第 114 回の問 1、第 118 回の問 5、第 120 回の問 2、第 124 回の問 1、第 129 回の問 3、第 138 回の問 5でも出題されていますが、本問（商品券の授受）と第 114 回の問題（商品券の精算）が解ければ、簿記 3 級の商品券対策はじゅうぶんです。

3. 手形の割引に関する問題です。

手形は満期日に決済されますが、満期日前であっても銀行に手形を持参して一定の手数料（利息）を支払うことにより、手形を現金化することが出来ます。

手形の割引日から満期日までの利息相当分は、**手形売却損勘定で費用処理**します。通常、利息の金額は問題文で与えられますが、本問のように自分で算定する必要がある場合は、問題の指示に従って日割計算をしてください。

$$500,000 \text{ 円} \times 0.5\% \times 146 \text{ 日} / 365 \text{ 日} = 1,000 \text{ 円}$$

手形の割引に関する問題は、第 109 回の問 4や第 119 回の問 1、第 125 回の問 5、第 128 回の問 1、第 130 回の問 5、第 135 回の問 2、第 137 回の問 4、第 138 回の問 3、第 141 回の問 1でも出題されているので、あわせてご確認ください。

4. 固定資産の購入に関する問題です。

建物や車両、備品、土地などの固定資産を購入したさいに、不可避免的に発生した費用（付随費用）は**購入原価に含めて処理**します。本問の「**手数料 ￥ 540,000**」も、購入原価に含めて処理しましょう。

$$\text{購入代価} = 100 \text{ 坪} \times @100,000 \text{ 円} = 10,000,000 \text{ 円}$$

$$\text{付随費用（購入手数料）} = 540,000 \text{ 円}$$

$$\text{購入原価} = \text{購入代価 } 10,000,000 \text{ 円} + \text{付随費用 } 540,000 \text{ 円} = \mathbf{10,540,000 \text{ 円}}$$

なお、商品売買取引以外で発生した未払債務 10,000,000 円（=100 坪×@100,000 円）は、**未払金**で処理します。うっかり買掛金で処理しないように気をつけてください。

- ・商品売買取引に伴い発生した未収債権・未払債務 → 売掛金・買掛金
- ・商品売買取引以外で発生した未収債権・**未払債務** → 未収入金・**未払金**

固定資産の購入に関する問題は、第 100 回の問 5や第 101 回の問 4、第 106 回の問 1、第 109 回の問 3、第 113 回の問 3、第 116 回の問 2、第 118 回の問 2、第 123 回の問 3、第 128 回の問 5、第 129 回の問 2、第 132 回の問 3、第 139 回の問 2、第 143 回の問 4、第 148 回の問 4、第 150 回の問 1でも出題されているので、あわせてご確認ください。

5. 所得税の源泉徴収に関する問題です。

本問のように「すでに切った仕訳を前提とする問題」は、一度仕訳を書いて考えてみると分かりやすいです。

☆参考・給料支払時の仕訳（すでに切った仕訳）

(借) 給料 ××× / (貸) 預り金 200,000
給料 (貸) 現金など ×××

★解答・預かっていた所得税を納付するさいの仕訳

(借) 預り金 200,000 / (貸) 現金 200,000

所得税の源泉徴収に関する問題は、第100回の間3や第101回の間3、第102回の間4、第106回の間5、第109回の間2、第117回の間4、第121回の間2、第128回の間4、第130回の間3、第131回の間4、第140回の間4、第142回の間2、第143回の間5でも出題されているので、あわせてご確認ください。